

# 第37回 2015 産業安全対策シンポジウム

(主催) JMA コーディネーター 6:スピーク

2月24日(火)

### S1 重大産業事故に学ぶ

10:00~13:00

C: 磯友 宏俊 高圧ガス保安協会 理事

**1 最近の高圧ガス事故について**

- 高圧ガス事故の統計と解析について
- 高圧ガス事故の情報活用について

S: 高橋 智 高圧ガス保安協会 高圧ガス部 事故調査課長

**2 福島第一原子力発電所の事故から学ぶ**

- 事故の直接的な原因について
- 事故の背後要因
- 対策

S: 松本 純一 東京電力㈱ ソーシャル・コミュニケーション室 リスクコミュニケーションリーダー

**3 化学プラントの重大事故から学ぶ これからの安全管理**

- 化学プラントの事故の背景要因
- 現場での低下にどう対応するか
- リスクベースの安全管理

S: 中村 昌光 東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 客員教授

### S2 リスク・コミュニケーションとクライシス・コミュニケーション

14:00~17:00

C: 早坂 和裕 東レ・ファイニングミカド㈱ 東海工場 工場長

**1 津波災害に対する危機管理について**

- 久慈郡石油備蓄基地の概要とS.11津波被災状況
- 津波被災の教訓とリスク&クライシス・コミュニケーション
- 地域社会との共生と信頼

S: 越 俊康 日本地下石油備蓄施設 久慈事業所 安全管理課 消防保安係 直長

**2 クライシス・コミュニケーションの基本と実践**

- クライシス・コミュニケーションとは
- 危険発生後の初期対応と対策本部の情報収集、整理、共有の方法
- 緊急記者会見の準備活動と会員を失ったためのポイント

S: 平能 哲也 平能哲也危機管理・広報事務所 代表 危機管理 広報コンサルタント

2月25日(水)

### S3 産業安全をいかにして強化するか ~保安力の評価と強化

10:00~13:00

C: 古村 健 三菱化学㈱ 技術部 企画調整グループ グループマネジャー

**1 保安力評価システムについて**

- 保安力評価センターの活動
- 保安力評価結果について
- 今後の展開

S: 若倉 正英 (株)産業技術総合研究所 客員研究員

**2 現場保安力の強化に向けて**

- 現場保安力の概念と構成要素
- 現場保安力マトリクス
- 現場保安力強化にあたっての考え方

S: 高木 伸夫 ㈱システム安全研究所 所長

**3 企業の安全活動事例**

- JSR㈱四日市工場の安全活動
- 安全優良事業所の安全文化
- 障り無い安全文化

S: 井村 裕 安全工学会 保安力向上センター 研究員 (元 JSR㈱ 環境安全部長)

### S4 企業の安全文化と産業保安向上へのアプローチ

14:00~17:00

C: 高野 研一 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授

**1 企業パフォーマンス(安全・業績)への組織文化の影響**

- 組織診断結果から見える企業パフォーマンスと文化の関連
- 安全性向上と生産性向上は両立するか
- 優れた組織を実現するための取り組み

S: 東原 朗 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 助教 (有期・研究奨励)

**2 化学プラントにおける事故調査からの安全文化ダイナミックモデル**

- 最近の化学プラント事故調査における安全文化の問題点
- 安全文化の構成要素
- 安全文化のダイナミックモデル

S: 宇野 研一 前 三菱化学㈱ 顧問

**3 トヨタ自動車の安全文化構築への取り組み**

- トヨタの安全活動の経緯と振り返り
- 安全文化再構築の取り組み
- 現場力向上に向けた活動事例紹介

S: 小澤 謙二 トヨタ自動車㈱ 安全健康推進部 部長

2月26日(木)

### S5 ヒューマンエラー 1 改めてヒューマンエラーを考える

10:00~13:00

C: 鳥居 崇 日本大学 生産工学部 准教授

**1 安全衛生活動の原点として 内田嘉吉「安全第一」を読む**

- 事故災害要因としてのヒューマンファクター
- 安全衛生活動の歴史をふりかえる
- 安全衛生活動の本質を探る

S: 小山 富士雄 東京工業大学 総合安全管理センター センター長代理、特任教授

**2 ヒューマンファクターを探る**

- さまざまなヒューマンファクターを探る
- ヒューマンファクターに起因する事故発生メカニズム
- ヒューマンファクターと安全管理

S: 鳥居 崇 日本大学 生産工学部 准教授

**3 隠す心理とその対応**

- ヒヤリハット報告が出ていないのは
- 人はなぜ隠すのか
- 「隠すこと」への対応

S: 小松原 明哲 早稲田大学 理工学術院 教授

### S6 ヒューマンエラー 2 現場力・人間力でヒューマンエラーに立ち向かう!

14:00~17:00

C: 精神 健 東日本旅客鉄道㈱ JR東日本研究開発センター 副所長

**1 ヒューマンエラーによる事故事例とその背景**

- 最近の化学プラント事故概要
- 事故の背景
- 今後の課題

S: 鈴木 和彦 岡山大学 大学院 自然科学研究科 教授

**2 「戦略的ヒューマンエラー撲滅活動」のすすめ**

- ヒューマンエラー撲滅活動がどうしてうまくいかないのか?
- 戦略的ヒューマンエラー撲滅活動の考え方
- 戦略的ヒューマンエラー3つのフェーズ 12ステップの紹介

S: 天川 一郎 元 (株)日本プラントメンテナンス協会

**3 Safety I から Safety IIへ ~新しい安全マネジメントの考え方~**

- 事故さげ起こさなければよいのか
- エラーマネジメントの促進
- しなやかな現場力を支える安全マネジメント

S: 芳賀 繁 立教大学 現代心理学部 教授

2月27日(金)

### S7 事故防止のための実践的安全教育

10:00~13:00

C: 鈴木 和彦 岡山大学 大学院 自然科学研究科 教授

**1 ノンテクニカル教育を含めた安全能力育成**

- 京葉臨海コンビナート人材育成講座における8年間の取り組み
- 見えてきた課題としてのノンテクニカル
- レジリエンスの高い組織に向けた展開

S: 越島 一郎 名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授

**2 OJT強化の取り組み ~若手、中堅社員の底上げを図る~**

- ベテラン社員によるOJT教育
- 職場小集団活動とおとした教育

S: 東根 悟 丸瀧石油化学㈱ 千葉工場 製造部2 アルコール・ケトン製造課長

**3 医療安全のための「チームステップス」とその教育・実践 ~チームワークを高め医療の安全性、成果を高めるチームステップス (Team STEPPS) という取り組みをご紹介します~**

S: 海渡 健 東京慈恵会医科大学付属病院 医療安全推進室 室長

### S8 グローバル経営時代の海外拠点安全マネジメント

14:00~17:00

C: 野本 聖之 日揮㈱ プロセス技術本部 HSEシステム部 チーフエンジニア

**1 海外生産拠点に対する安全・教育支援**

- 海外生産拠点の安全支援
- 海外工場での安全活動事例
- 海外生産拠点人材への体験型研修

S: 半田 安 元 三井化学㈱ 生産技術本部 海外技術部 主幹 部長 (元 三井化学技術研修センター長)

**2 住友化学のRCグローバルマネジメントと海外監査活動 (※RC:レスポンス・ケア)**

- 住友化学のRCグローバルマネジメント
- 海外グループ会社へのRC監査活動
- その他

S: 佐々木 直行 住友化学㈱ レスポンスケア室 主幹 部長 (RC専門監査員)

**3 海外建設現場での安全文化醸成**

- 海外の建設現場における事故の傾向
- 事故と人間関係の関わり (IIFプログラムから)
- IIFプログラムによる安全文化の醸成 (※IIF: Incident and Injury-Free)

S: 杉本 亨 日揮㈱ 品質・安全・環境課 室長代行



第37回

# 2015 産業安全対策シンポジウム

開催期間 **2015.2.24 (火) ~ 2.27 (金) 4日間**

会場 **東京港区・三田NNホール (三田NNビル 地下1階)**

主催 **公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会  
一般社団法人 日本能率協会**

安全、製造、生産技術、総務、経営企画、リスクマネジメント等のスタッフ、管理者および経営幹部の方

わが国の産業界は、市場・生産拠点のグローバル化、高度で複雑なIT利用、熟練技術者の退職等、取り巻く環境の変化により、開発・生産の効率化、品質維持等の観点から多くの課題を抱えています。加えて、東日本大震災による大きな被害は、産業界にかけない影響を残す結果となりました。この状況下において、企業では、安全管理システムの再構築、自然災害、疾病、ヒューマンエラー、事業継続計画の構築等、様々なリスク課題に臨まねばならず、社会的信頼確保の観点からこれらのトラブルへの万全の対策が急務とされています。本シンポジウムは、産業界における災害・事故の予防ならびにトラブル後の事業継続のための対策等に関する重要課題をテーマとして取り上げ、産業界全体の安全対策、リスク対応力の向上に寄与することをねらいとして開催いたします。

### 企画委員会委員一覧

別府 隆三 近畿化学工業株式会社 レスポンシブルアサ 主席役員  
水沼 一典 中央労働安全衛生協会 技術支援部 次長  
磯本 健二 一般社団法人 日本能率協会 専務理事  
佐藤 真一 一般社団法人 日本能率協会 専務理事

天川 一彦 元 公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 副会長  
精神 隆 東京労働安全衛生協会 副会長  
天野 雅子 三井化学株式会社 技術部 企画調整グループ 課長  
吉村 健一 三井化学株式会社 技術部 企画調整グループ 課長

藤本 幸弘 独立行政法人 労働安全衛生総合研究所 化学安全研究グループ 部長  
小松原明哲 早稲田大学 理工学術院 教授

### 後 援

特定非営利活動法人 安全協会 一般社団法人 電子情報技術産業協会  
一般社団法人 エコシステムジャパン 一般社団法人 東京労働安全衛生協会  
公益社団法人 化学工業協会 一般社団法人 日本化学工業協会  
労働安全衛生協会 公益社団法人 日本化学工業協会  
高圧ガス保安協会 公益社団法人 日本化学工業協会

### (注) 団体申請・席不問

特定非営利活動法人 安全協会 一般社団法人 電子情報技術産業協会  
一般社団法人 エコシステムジャパン 一般社団法人 東京労働安全衛生協会  
公益社団法人 化学工業協会 一般社団法人 日本化学工業協会  
労働安全衛生協会 公益社団法人 日本化学工業協会

(敬称略) コーディネーター S:スピーカー ※プログラム内容(講演テーマ・スピーカー・講演の順番等)は変更になる場合がありますのでご了承ください。

2月24日(火)

## S1 重大産業事故に学ぶ

10:00~13:00

C: 園友 宏俊 高圧ガス保安協会 理事

### 1 最近の高圧ガス事故について

S: 高橋 留 高圧ガス保安協会 高圧ガス部 事故調査課長

### 2 福島第一原子力発電所の事故から学ぶ

S: 松本 純一 東京電力株式会社 ソーシャル・コミュニケーション室 リスクコミュニケーションター

### 3 化学プラントの重大事故から学ぶこれからの安全管理

S: 中村 昌允 東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 客員教授

## S2 リスク・コミュニケーションとクライシス・コミュニケーション

14:00~17:00

C: 早坂 和祐 東レファインケミカル(株) 東海工場 工場長

### 1 津波災害に対する危機管理について

S: 館 俊康 日本地下石油備蓄機構 久慈事業所 安全環境課 消防保安係 係長

### 2 クライシス・コミュニケーションの基本と実践

S: 平能 哲也 平能哲也危機管理・広報事務所 代表 危機管理・広報コンサルタント

2月25日(水)

## S3 産業安全をいかにして強化するか

10:00~13:00

~ 保安力の評価と強化

C: 古村 健 三菱化学株式会社 技術部 企画調整グループ グループマネジャー

### 1 保安力評価システムについて

S: 若倉 正英 (株) 産業技術総合研究所 客員研究員

### 2 現場保安力の強化に向けて

S: 高木 伸夫 株式会社システム安全研究所 所長

### 3 企業の安全活動事例

S: 井村 裕 安全工学 保安力向上センター 研究員 (元 JSAR 環境安全部長)

## S4 企業の安全文化と産業保安向上へのアプローチ

14:00~17:00

C: 高野 研一 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授

### 1 企業パフォーマンス(安全・業績)への組織文化の影響

S: 東瀬 朗 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 助教 (有期・研究奨励)

### 2 化学プラントにおける事故調査からの安全文化ダイナミックモデル

S: 宇野 研一 前 三菱化学 顧問

### 3 トヨタ自動車の安全文化構築への取り組み

S: 小澤 謙二 トヨタ自動車株式会社 安全健康推進部 部長

2月26日(木)

## S5 ヒューマンエラー-1 改めてヒューマンエラーを考える

10:00~13:00

C: 鳥居 康 日本大学 生産工学部 准教授

### 1 安全衛生活動の原点として内田嘉吉「安全第一」を読む

S: 小山 富士雄 東京工業大学 総合安全管理センター センター長代理、特任教授

### 2 ヒューマンファクターを探る

S: 鳥居 康 日本大学 生産工学部 准教授

### 3 隠す心理とその対応

S: 小松原 明哲 早稲田大学 理工学術院 教授

## S6 ヒューマンエラー-2 現場・人間力でヒューマンエラーに立ち向かう!

14:00~17:00

C: 精神 健 東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター 副所長

### 1 ヒューマンエラーによる事故事例とその背景

S: 鈴木 和彦 岡山大学大学院 自然科学研究科 教授

### 2 「戦略的ヒューマンエラー撲滅活動」のすすめ

S: 天川 一彦 元 (公社) 日本プラントメンテナンス協会

### 3 Safety I から Safety II へ ~ 新しい安全管理の考え方 ~

S: 芳賀 繁 立教大学 現代心理学部 教授

2月27日(金)

## S7 事故防止のための実践的安全教育

10:00~13:00

C: 鈴木 和彦 岡山大学 大学院 自然科学研究科 教授

### 1 ノンテクニカル教育を含めた安全能力育成

S: 越島 一郎 名古屋工業大学 大学院 工学研究科 教授

### 2 OJT強化の取り組み ~ 若手、中堅社員の底上げを図る ~

S: 東根 悟 丸善石油化学株式会社 工業工場 製造二部 アルコール・ケトン製造課長

### 3 医療安全のための「チームステップ」とその教育・実践

~ チームで取り組む医療安全のための意識改革 ~  
S: 海渡 健 東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全推進室 室長

## S8 グローバル経営時代の海外拠点安全管理

14:00~17:00

C: 野本 康之 日揮株式会社 プロセス技術本部 HSEシステム部 チーフエンジニア

### 1 海外生産拠点に対する安全・教育支援

S: 半田 安 元 三井化学株式会社 生産技術本部 海外技術部 主務部長 (元 三井化学技術研修センター長)

### 2 住友化学のRCグローバルマネジメントと海外監査活動 (※RC:レスポンスリケア)

S: 佐々木 直行 住友化学株式会社 レスポンスリケア室 主務部長 (RC専門監査員)

### 3 海外建設現場での安全文化醸成

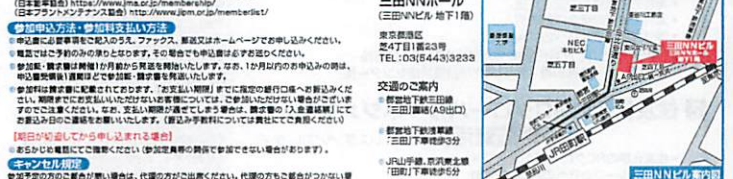
S: 杉本 亨 日揮株式会社 安全・環境室 室長代行

### 参加申込規定

参加料	1セッション(半日)	2セッション(一日)	全セッション(4日間)
一般社団法人日本能率協会 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 正会員	19,000円	34,000円	120,000円
協賛組合員	20,000円	36,000円	130,000円
大学・国公研究機関	12,000円	20,000円	74,000円
上記外	21,000円	38,000円	137,000円

※セッション料は、参加料(16%)、このセッションのテキスト分(10%)を含みます。  
※会場内での昼食は別途お申し込みください。会場外での昼食は各自でご用意ください。  
※テキストは会場にて配布いたします。(参加料外でのテキストは各自でご用意ください。)  
※入会金が必要な場合は、お申し込みの際に、下記URLにてご確認ください。  
(日本プラントメンテナンス協会) http://www.jpm.or.jp/member/

会場案内 三田NNホール (三田NNビル 地下1階) 東京港区 芝4丁目2番3号 TEL: 03(644)3323



プログラム内容の問い合わせ先 一般社団法人日本能率協会 産業安全対策シンポジウム事務局 TEL: 03(3434)0587

参加申込書 申込期間 2015年2月24日(火)~2月27日(金) 申込方法 申込書に必要事項を記入し、お申し込みください。申込書は、お申し込みの日の前日までに届くようにしてください。お申し込みの日の前日までに届かない場合は、お申し込みの日の前日までに届くようにしてください。お申し込みの日の前日までに届かない場合は、お申し込みの日の前日までに届くようにしてください。

JMAマネジメントスクール (FAX:03(3434)5505) http://school.jma.or.jp/anzen/ (HPからも申し込みできます)

2015 産業安全対策シンポジウム 2015年2月24日(火)~2月27日(金)

参加者氏名	所属	申込日	2/24 (火)	2/25 (水)	2/26 (木)	2/27 (金)
氏名	所属	申込日	1	2	3	4
氏名	所属	申込日	1	2	3	4
氏名	所属	申込日	1	2	3	4
氏名	所属	申込日	1	2	3	4

申込書に必要事項を記入し、お申し込みください。申込書は、お申し込みの日の前日までに届くようにしてください。お申し込みの日の前日までに届かない場合は、お申し込みの日の前日までに届くようにしてください。お申し込みの日の前日までに届かない場合は、お申し込みの日の前日までに届くようにしてください。

参加申込書